

# 城北小学校 コミュニティ・スクール

学校教育目標 自他を尊重し、未来にたくましく生きる子どもの育成



第2回学校運営協議会  
9月26日(木) 15:30~

コミュニティ・スクールになって5年目の城北小学校。夏休みに新しくなったアクティブラーニング教室で、第2回学校運営協議会が開催されました。

学校からは、子どもたちの主体的・協働的な学びを実現するアクティブラーニング教室の活用について紹介がありました。その後、学校における子どもたちの様子や、今年度の学校評価についての説明がありました。

「すべては子どもたちのために」という思いをもった協議会委員の方々が、登下校の安全や「一校一行」の「進んであいさつ、くつそろえ」をテーマに話し合いをされました。子ども自身が「何のためにあいさつやくつそろえをするのか」を納得できるように取組を進めていくことで、自ら行動できる子を育てていこうという思いを共有されました。



## 地域の方の声

「くつそろえ」は、単なる行為ではなく、次の人が使いやすいようにする、気持ちよく過ごせるようにするという「思いやりの心を育てる」ことだと思います。その部分を子どもたちに伝えていく必要があると思います。

靴を外向きにそろえるというのは日本の文化であり、違う文化の国もあります。このことから、文化の違いについても考える機会になるのではないのでしょうか。

保護者として何年も学校と関わっていますが、「一校一行」について知りませんでした。学校の取組がもっと地域や家庭に伝わる方法を考えていこうと思いました。



## 視聴覚機器の効果的な活用 〈通学路についての熟議にて〉



通学路の地図や写真を提示することで、共通理解しやすくなりました。教室後方の壁面ホワイトボードや電子黒板機能も有効活用されていました！



子どもの安全が第一ですが、信号を設置してもらうことはなかなか難しいです。協議会としても、下校時に見守ってもらえるように地域の皆さんに働きかけられればと思います。



## 協議会での取組を各教室に掲示！

昨年度、協議会で話し合っていたことに子どもたちの声を加えて、各教室に掲示しています。



教頭先生から、昨年度の協議会の取組が具現化し、子どもたちに示されている内容の紹介がありました。子どもたちと地域の方が一緒に活動を進めておられるところが素敵ですね！